

## 2011年度 学校法人福岡女学院の収支決算について

### 2011年度 消費収支計算書

2011年4月1日から  
2012年3月31日まで

消費収支計算書とは、法人に帰属する負債(借金)としない収入と、資産・借入金返済・積立金などの資本的支出に充てる額を除いた支出を計上する。学校法人の経営状態を明らかにします。

- 1.消費収支は、約1千3百万円の収入超過になりました。
- 2.大学新棟の建築資金及び校舎耐震工事計画としての第2号基本金の組入れを含んで約3億円を計上しました。

(単位:千円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	3,620,451	3,613,456	6,995
手数料	60,770	61,551	△ 781
寄付金	58,000	46,747	11,253
補助金	651,710	692,995	△ 41,285
資産運用収入	157,000	181,602	△ 24,602
事業収入	74,878	62,927	11,951
雑収入	55,588	121,701	△ 66,113
<b>帰属収入合計</b>	<b>4,678,397</b>	<b>4,780,979</b>	<b>△ 102,582</b>
基本金組入額	△ 396,744	△ 285,425	△ 111,319
<b>消費収入の部合計</b>	<b>4,281,653</b>	<b>4,495,554</b>	<b>△ 213,901</b>

学生生徒園児が納める授業料や入学金等のごとで、帰属収入の75.6%を占めます。

国や地方公共団体等からの助成金です。帰属収入の14.5%を占めます。

生涯学習センターや補助活動事業に係る収入です。

学校法人の負債としない収入です。

教育環境を維持するための施設・設備等の額で、帰属収入から差し引きます。

(単位:千円)

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	2,980,045	2,939,810	40,235
(退職給与引当金繰入額)	(146,184)	(85,487)	△ 60,697
教育研究経費	1,129,295	1,055,093	74,202
(減価償却額)	(257,604)	(263,049)	5,445
管理経費	280,765	272,861	7,904
(減価償却額)	(18,061)	(17,355)	△ 706
借入金等利息	2,040	2,039	1
資産処分差額	4,000	205,569	△ 201,569
徴収不能引当金繰入額	7,000	6,965	35
[予備費]	(50,000)		50,000
<b>消費支出の部合計</b>	<b>4,453,145</b>	<b>4,482,337</b>	<b>△ 29,192</b>
当年度消費支出超過額	171,492		
当年度消費収入超過額		13,217	
前年度繰越消費収入超過額	969,489	969,489	
翌年度繰越消費収入超過額	797,997	982,706	
<b>帰属収支差額</b>	<b>225,252</b>	<b>298,642</b>	<b>△ 73,390</b>

教職員に支払う給与等のことです。帰属収入に対して61.5%を占めています。

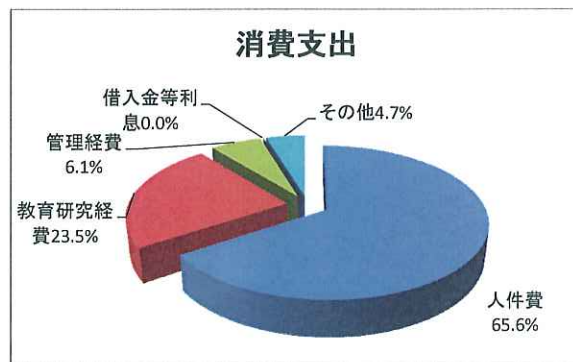
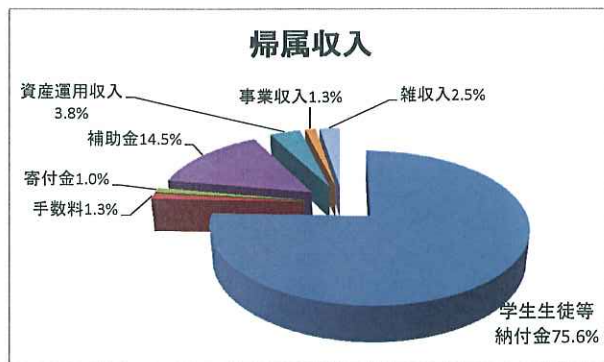
学生生徒園児の教育研究のために支出する経費等です。

総務、人事、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費です。

学校法人が消費する財貨及び用益の対価の合計です。帰属収入に対して93.8%を占めています。

(注) [予備費]は未使用額を表し、( )内の金額は使用額を示す。

### 本学の収支状況(構成比)



## 2011年度 資金収支計算書

2011年4月1日から  
2012年3月31日まで

資金収支計算書とは、当該会計年度(4月1日～翌年3月31日)に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表します。

(単位:千円)

資 金 収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,620,451	3,613,456	6,995
手数料収入	60,770	61,551	△ 781
寄付金収入	58,000	44,728	13,272
補助金収入	651,710	692,995	△ 41,285
資産運用収入	157,000	181,602	△ 24,602
事業収入	76,581	67,083	9,498
雑収入	55,588	94,502	△ 38,914
前受金収入	594,809	617,752	△ 22,943
その他の収入	1,752,471	2,726,172	△ 973,701
資金収入調整勘定	△ 711,610	△ 771,227	59,617
前年度繰越支払資金	1,701,761	1,701,761	0
<b>収入の部合計</b>	<b>8,017,531</b>	<b>9,030,375</b>	<b>△ 1,012,844</b>

翌年度に入学予定の学生生徒園児から受入れる入学金や授業料等です。

長期の奨学貸付金等の回収額や退職金預金として保有している資金の取崩額や運用規模を表します。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

資 金 支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,014,738	3,006,889	7,849
教育研究経費支出	871,691	792,368	79,323
管理経費支出	259,877	260,838	△ 961
借入金等利息支出	2,040	2,039	1
借入金等返済支出	20,640	20,640	0
施設関係支出	211,571	206,010	5,561
設備関係支出	233,520	227,848	5,672
資産運用支出	890,000	1,663,378	△ 773,378
その他の支出	1,163,122	1,357,594	△ 194,472
[ 予 備 費 ]	0		
	(50,000)		50,000
資金支出調整勘定	△ 405,326	△ 494,298	88,972
次年度繰越支払資金	1,705,658	1,987,069	△ 281,411
<b>支出の部合計</b>	<b>8,017,531</b>	<b>9,030,375</b>	<b>△ 1,012,844</b>

土地、建物、構築物等を取得するための支出です。

教育研究用の備品やその他の備品、図書等を取得するための支出です。

将来の建物の改修費などよりよい教育研究を提供するために積立てる資金の額です。

支出として計上したが、未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

(注) [予備費]は未使用額を表し、( )内の金額は使用額を示す。

- 1.施設関係支出、設備関係支出には大学2号館及び中高中央館の耐震工事、設備更新工事の費用が計上されています。
- 2.資金収支は、約90億円の規模で運営されました。
- 3.次年度繰越支払資金は約20億円で、前年度比約3億円の増加となりました。

貸借対照表  
2012年3月31日現在

年度末における資産・負債・基本金及び収支差額を示し、学校法人の財政状態を明らかにしま@

(単位:千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	16,967,973	16,837,928	130,045
有形固定資産	7,466,446	7,341,384	125,062
土地	1,293,598	1,293,598	0
建物	4,118,868	4,088,800	30,068
構築物	126,755	145,903	△ 19,148
教育研究用危機備品	465,586	387,728	77,858
その他の危機備品	22,875	21,631	1,244
図書	1,438,764	1,403,724	35,040
車両	0	0	0
其他固定資産	9,501,527	9,496,544	4,983
電話加入権	2,885	2,885	0
施設利用権	1,156	1,261	△ 105
ソフトウェア	10,371	6,400	3,971
出資金	8,661	8,656	5
預託金	18,264	18,264	0
有価証券	224,192	408,000	△ 183,808
貸付金	45,231	52,708	△ 7,477
差入保証金	9,964	9,964	0
各引当特定資産	9,180,803	8,988,406	192,397
流動資産	2,141,520	1,816,737	324,783
現金預金	1,987,069	1,701,761	285,308
未収入金	139,282	90,898	48,384
貯蔵品	9,607	2,533	7,074
短期貸付金	563	673	△ 110
前払金	3,406	8,108	△ 4,702
立替金	177	143	34
仮払金	1,416	397	1,019
研修旅行費預り資産	0	12,224	△ 12,224
資産の部合計	19,109,493	18,654,665	454,828

有形固定資産は取得額とし、減価償却額を控除した帳簿価額で表します。

学生生徒へ貸与している奨学金等の貸付残高です。

特定の目的のために使用する資産(預金)のことです。

現金及びすぐに引き出すことのできる預貯金のことです。

年度末時点で補助金など未収となっている額です。

(単位:千円)

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

年度末に全教職員が退職した場合に支払うことになる退職金の見積額のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

翌年度に入学する学生生徒園児から受入れた授業料や入学金等のことです。

財産的な基盤となる額のことです。学校が安定的に継続して運営していくために必要な額です。

資産から負債と基本金を差し引いた額です。プラスは収入超過(累積黒字)を、マイナスは支出超過(累積赤字)を

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,141,698	1,126,508	15,190
長期借入金	23,680	35,520	△ 11,840
退職給与引当金	983,683	1,077,016	△ 93,333
長期未払金	134,335	13,972	120,363
流動負債	1,121,395	980,399	140,996
短期借入金	11,840	20,640	△ 8,800
未払金	365,828	202,430	163,398
前受金	617,752	631,972	△ 14,220
預り金	125,975	125,357	618
負債の部合計	2,263,093	2,106,907	156,186
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	11,932,244	11,756,819	175,425
第2号基本金	780,000	670,000	110,000
第3号基本金	2,878,450	2,878,450	0
第4号基本金	273,000	273,000	0
基本金の部合計	15,863,694	15,578,269	285,425
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費収入超過額	982,706	969,489	13,217
消費収支差額の部合計	982,706	969,489	13,217
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	19,109,493	18,654,665	454,828

2012年3月31日現在の財政状態(構成比)

(貸借対照表の構造)

資産の部		負債の部、基本金の部、消費収支差額の部	
固定資産	有形固定資産	固定負債	負債
	その他の固定資産	流動負債	
流動資産		基本金	
		消費収支差額	



資産の部	負債の部
有形固定資産 39.1%	退職給与引当金5.1%
	前受金3.2%
	その他負債3.5%
その他の固定資産 49.7%	第1号基本金 62.4%
	第2号基本金4.1%
	第3号基本金15.1%
流動資産11.2%	消費収支差額5.2%
	第4号基本金1.4%
	基本金計83.0%

【福岡女学院の財政状態】

- ①自己資金(基本金+消費収支差額)の構成を指数化すると88.2%です。この指数が高いほど財政的に安定していると言えます。
- ②消費収支差額がプラスであることは良好な経営状態であると言えます。

基本金:学校法人の教育研究活動に必要な資産のうち、継続的・計画的に維持していくべき資産の額を帰属収入から組入れた金額のことです。  
 第1号基本金:校地、校舎、機器備品、図書などの固定資産の取得価額です。  
 第2号基本金:将来固定資産を取得する目的で積立てた預金などの価額です。  
 第3号基本金:奨学基金、研究基金などの資産の価額です。  
 第4号基本金:運営に必要な運転資金の額を表します。